

衆議院予算委員会ニュース

平成 23.7.19 第 177 回国会第 26 号

7 月 19 日（火）、第 26 回の委員会が開かれました。

1 平成 23 年度一般会計補正予算（第 2 号）

平成 23 年度特別会計補正予算（特第 2 号）

- ・管内閣総理大臣、片山総務大臣、江田法務大臣兼環境大臣、松本外務大臣、野田財務大臣、高木文部科学大臣、細川厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、海江田経済産業大臣、大畠国土交通大臣、北澤防衛大臣、枝野国務大臣（内閣官房長官）、中野国務大臣、自見国務大臣（金融担当）、細野国務大臣（原発事故の収束及び再発防止）、玄葉国務大臣（国家戦略）、平野国務大臣（東日本大震災復興対策）及び参考人に質疑を行いました。

（参考人）日本銀行副総裁

東京電力株式会社社長

山口 廣 秀君

西澤 俊 夫君

（質疑者及び主な質疑内容）

近藤 洋介君（民主）

- ・二重債務に関し、債権買い取りを行う機構の設立について、被災地との協議状況を伺いたい。
- ・現在の円高水準に対し、日本銀行の見方と追加の金融政策の必要性についてどのように考えているのかを伺いたい。また、過度な円高に対する野田財務大臣の対処の方針と決意を伺いたい。
- ・復興基本方針に企業立地の促進施策を盛り込む必要があるのではないか。
- ・各地の電力需給を正確に把握するとともに、無理のない省エネルギーを進める必要があるのではないか。

下地 幹郎君（国民）

- ・管内閣総理大臣が退陣条件として掲げた 3 法案以外の法案についても成立に向けて努力することを明確にする必要があるのではないか。
- ・郵政改革関連法案を成立させることについて、管内閣総理大臣の意思を確認したい。

小池 百合子君（自民）

- ・東日本大震災被災者の現状についての管内閣総理大臣の認識を伺いたい。
- ・東日本大震災被災地の消防団員の殉職者に対する賞しゅつ金は、平成 23 年度第 2 次補正予算で計上されているか。
- ・管内閣総理大臣は先般の記者会見で脱原発依存の旨の発言をしているが、これまでの国家政策との整合性についてどのように考えているか。

茂木 敏充君（自民）

- ・被災地において大量発生しているハエ等衛生害虫の駆除が遅れば、夏場に向けて衛生状態が悪化し、伝染病が蔓延する可能性もある。駆除対策を災害廃棄物処理事業の補助対象とし、2 次補正予算に計上すべきと考えるが、管内閣総理大臣及び江田環境大臣の所見を伺いたい。
- ・がれき処理に係る 1 次補正予算額 3,626 億円のうち 0.5 億円しか実際に被災自治体に支払われていないことについて管内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・震災の影響による企業の海外移転を防ぐ対策を講じ、そのための予算を 2 次補正予算に計上すべきと考えるが、管内閣総理大臣の所見を伺いたい。

長島 忠美君（自民）

- ・肉用牛から基準値を超えるセシウムが検出された問題に対し、誰が責任を持って取り組むのか。
- ・地方公共団体に裁量権がある復興基金創設の必要性について管内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・地方公共団体の長との信頼関係を保つため、仮設住宅における生活対策の責任者を明確にする必要があると思うが管内閣総理大臣の見解を伺いたい。

古屋 圭司君（自民）

- ・天皇皇后両陛下がご臨席された日本体育協会創立 100 周年記念祝賀式典に欠席した理由について管内閣総理大臣に伺いたい。
- ・市民の会、市民の党、MPD の代表者との面識はありますか管内閣総理大臣に伺いたい。
- ・市民の会、市民の党、MPD 以外で民主党と関わりの深

いローカル・パーティは存在するのか。

小 里 泰 弘君(自民)

- ・福島第一原子力発電所作業員の管理体制について、西澤東京電力社長及び細川厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・自由民主党による震災対応の提言に対する玄葉国家戦略担当大臣の所見を伺いたい。
- ・2次補正予算に関する発言の変遷について、菅内閣総理大臣に伺いたい。

金 田 勝 年君(自民)

- ・先般の全国知事会儀において、東日本大震災への対応について提言が採択されたほか、東北6県の知事から共同アピールが出されているが、これらに対する菅内閣総理大臣及び平野東日本大震災復興対策担当大臣の所見を伺いたい。
- ・総予算の組替えによる財源捻出など、民主党がマニフェストに掲げた公約を守れなかったことにより、そのツケが将来の国民への負担と転嫁される懸念があるのではないかと思うが、菅内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・政策判断の基準や意思決定プロセスなどについて党内や閣内から批判が出ていることについて、菅内閣総理大臣の所見を伺いたい。

武 部 勤君(自民)

- ・放射性セシウムに汚染された稲わらが肉牛に与えられていた問題を受け、政府は、稲わらの出荷等について、現在どのような対策を講じているのか。
- ・牛肉のセシウム汚染の問題に対処するため、全額政府の負担による肉牛の全頭検査を徹底して行うべきであると

思うが、政府の見解を伺いたい。

- ・菅内閣総理大臣は、かつて、郵政解散のときに、シングルイシューによる解散総選挙は、民主主義のルールに反すると述べたと記憶しているが、今もその認識に変わりはないか。

池 坊 保 子君(公明)

- ・学校法人が原発事故に係る補償金の仮払いを東京電力から一旦は拒否される問題が起こるなど、現状ではきめ細やかな対応ができていないと考えるが、いかがか。
- ・第1次補正で計上された被災校舎改修の予算の執行が遅れているが、これは現場の財務局の査定の内方に問題があるのではないかと、野田財務大臣の所見を伺いたい。
- ・復興にあたっては女性参画を増やしていく必要があると考えるが、平野東日本大震災復興対策担当大臣の所見を伺いたい。

江 田 康 幸君(公明)

- ・がれき処理については、国が全面的に代行し、費用も全額国が負担する野党4党が提案する方法をとるべきと考えるが江田環境大臣の所見を伺いたい。
- ・廃棄物処理事業の対象となっていない被災した公共施設の解体についても国が費用を負担するようにすべきではないか。
- ・特定避難勧奨地点から避難した住民への支援は現状で十分なのか、また避難するかどうかの判断を住民自身に委ねたことは適切だったのか伺いたい。

2 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

理事 富 田 茂 之君(公明)(理事富田茂之君今 19 日委員辞任につきその補欠)